



◆表彰目的

大阪市内で建設された魅力ある良質な都市型集合住宅を表彰し、その優れた面を明らかにすることにより、市内に良質な都市型集合住宅の建設を促進するとともに、広く市民の方々が住宅供給に携わる人々の住宅に対する意識の向上を図ることを目的としています。

◆対象

大阪市内で、概ね過去5年以内に完成した民間マンションを対象としています。団地の全体計画等に優れたものについては、団地全体が完成した時点で全体を審査の対象とすることができます。

◆推薦方法

毎年、6月頃に対象となる民間マンションの推薦を募集します。どなたでも推薦できます。

◆審査

推薦のあった住宅について、「大阪市ハウジングデザイン賞審査委員会」において、次の審査基準により書類審査、現地調査を行って選考します。

- (1) 市民の多様なニーズや地区の特性に対応した水準の高い住宅
- (2) 外観デザイン、配置計画、住戸計画等に優れ、魅力ある住宅や住環境となっているもの
- (3) 新しい技術の開発や斬新なアイデアの導入等により、快適な住空間が形成されているもの
- (4) 人にやさしいすまいづくりの観点から、適切な配慮がなされているもの
- (5) 既存住宅を有効に活用し、優れた改造等が行われているもの
- (6) 維持管理が適切に行われ、住宅や住環境が良好に保たれているもの
- (7) その他、住宅や住環境に関して優れているもの

◆賞の種類

「大阪市ハウジングデザイン賞」とし、総合的な観点から見て特に優れたものを「大賞」、また、特定の分野において特に優れたものを「特別賞」とします。

◆表彰

表彰対象住宅の事業者、設計者、施工者及び管理組合等を表彰します。また、住宅には受賞を表わす銘板を取り付けます。

◆審査委員

【委員長】	巽 和夫	(京都大学名誉教授、福山大学工学部教授)
【委員】	東 孝光	(大阪大学名誉教授、千葉工業大学教授)
	高橋 勲子	(大阪国際文化協会会長)
	徳矢 典子	(弁護士)
	宮井 市太郎	(日本放送協会大阪放送局編成部チーフディレクター)
	三輪 雅久	(大阪市立大学名誉教授)
	山口 完爾	(住宅金融公庫大阪支店長)
	山下 英次	(大阪市立大学経済学部助教授)
	山本 晃	(元大阪市都市整備局長)

〈総評〉

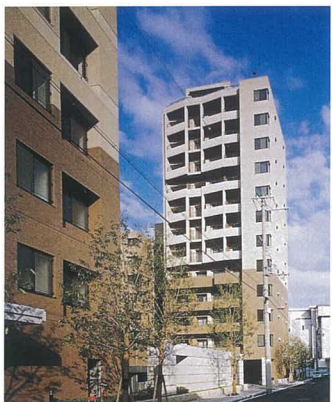
景気の沈滞が続くなかで、住宅不況も厳しい環境下にある。このような状況を反映して、応募作品は概ね、堅実で日常生活に重点をおいた市民の手が届く範囲の価格での住宅づくりを目指したものとなっている。

建物外観に関しては、全体的に色使いが控え目で落ち着いた雰囲気デザインが多く、材質の選び方にも工夫がみられ、コスト低減の努力も感じられた。住宅廻りの環境整備と維持管理については良好なものが多く、周辺環境への配慮とともに住環境向上への意識の高まりがうかがえた。

本年度に注目すべきことのひとつは、既存隣接建物が良好な環境を維持できるように配慮して新築建物の計画を行った事例が誕生したことである。高密度街地において社会的センスに富んだ作品として非常に高く評価したい。もうひとつは、分譲集合住宅の全員同意による建替え事例が現れたことである。これから続々と生まれて来るであろう建替え事業のリーディングモデルとなることを期待したい。後者は、特別の意義を持つ作品と考え、「特別賞」に位置づけることとした。

受賞作品

メゾン文の里 阿倍野ツイン (分譲)



南北に細長い敷地の中央部の隣地にある既存高層マンション棟に配慮し、住棟を南北2棟に分け、中央部を駐車場とした配置は、周辺への配慮を設計条件に取り込んだ優れた計画として評価できる。

外観は基部と上部を二層構成にして、形や色調に変化をつけるなどデザイン性に優れている。

住戸内は、塔状棟のため、自然光が豊富であり、バリアフリーを取り入れるなど、居住性に富んでいる。細部のデザインに手仕事の面白さが生かされており、玄関ドアのユニークな仕上げや新聞入れ、収納部分の工夫など、随所に温かさが感じられる。

また、敷地周辺に設けられた公開空地は、歩道、広場、植栽等がよく整備されている。

所在地/阿倍野区美草園3丁目  
 事業者/住友商事株式会社 大阪住宅・都市開発事業部  
 設計者/株式会社日建ハウジングシステム大阪支社  
 施工者/株式会社大林組

RE-SOUL 清水谷 (賃貸)



都心部における事務所とワンルーム住宅とを組み合わせた複合建築であり、両者の交流が期待されている。

外壁は、太い横目地のコンクリート打ち放しと濃紺のタイルで構成され、画一的になりがちな集合住宅の外観を活性化させ、街なみに働きかけているという点は評価される。その反面、住まいとしての安らぎや安心感が得られるかどうかという疑問も持たれる。

住戸は30m<sup>2</sup>と40m<sup>2</sup>の単身者用であるが、両者の居住性にかかなりの差があるように感じられる。住戸の内装が十分ではないが、これが若い人好みを反映するものになるかどうか、今後の利用実態を観察してみたい。

複雑な外観やディテールによってメンテナンスに負担がかかることが懸念される。

所在地/天王寺区清水谷町  
 事業者/田中一三  
 設計者/株式会社田中啓文総合建築研究所  
 施工者/株式会社富士工大阪支店

「四季彩都」くすのき館 (分譲)



工業地域に立地する大規模住宅団地3棟のなかの1棟である。住棟配置計画にゆとりがあり、1階の住戸は入口のデザインを変えて戸建て感覚を醸し出している。間取りメニュー、仕様変更対応がなされている点も評価できる。

住棟は濃いブラウン系のタイル貼りで、落ち着いたデザインである。建物周囲には樹木と草花類をバランスよく植栽して、緑化に努めている。ただ、駐車場が大規模でデザインが十分でないために、全体の景観を損ねていることが惜しまれる。

また、1階玄関横にプレイルーム・子供図書室が設置されているのは大変好ましいが、直線的でやや冷たく感じられる。今後の改良と充実を望みたい。

全住棟が完成することにより、街なみ全体の魅力が向上することを期待したい。

所在地/城東区新喜多東1丁目  
 事業者/進和不動産株式会社  
 株式会社長谷工都市開発  
 設計者/株式会社長谷工コーポレーション  
 施工者/株式会社長谷工コーポレーション 建築本部関西

特別賞 アルス帝塚山 (分譲)



本作品について特筆すべきは、建築後約30年の既存住宅団地を、大阪市の助成制度を受けて、全員同意による等価交換方式で建替えた住宅であることである。

阿倍野区西南部の閑静な住宅地の中で、周辺環境に配慮し、高さを抑えた中層集合住宅である。外観はブラウン系の落ち着いた色調のタイル貼りであり、単調さを感じさせない雁行した壁面とともに、街並みに配慮したデザインとなっている。

エントランス・ロビーも清潔で明るく、また、敷地内の遊歩道は、木製の目隠しや植え込みなどの工夫がみられ、シンプルで好ましいデザインとなっている。

しかし、駐車場施設及びそれを取り巻くコンクリート塀のデザインに一工夫はしなかった。

今後、分譲集合住宅の建替えが増加することが予想されるが、本作品は「建替え」という難しい事業の成功例として、先駆的な役割を果たすものと評価し「特別賞」とした。

所在地/阿倍野区帝塚山1丁目  
 事業者/東急不動産株式会社  
 設計者/株式会社新井組一級建築士事務所  
 株式会社コム計画研究所  
 施工者/株式会社新井組